

2-9-3 本能寺 由緒沿革

当山の宗名は「法華宗」くわしくは「妙法蓮華経宗」という。

宗祖日蓮大聖人の滅後 133 年開基日隆聖人が法華宗の正義を再興せんが為、応永 22 年（1415）布教の根本道場として創建された。

史上有名な「本能寺の変」は、天正 10 年 6 月 2 日、一代の英雄信長も光秀の不意襲○を受け、当山の大伽藍と共に一辺の煙と化した。時の本能寺は四條油小路に在り、秀吉の代寺領換地となり現在地に移転。信長の第三子信孝の願いにより、当山内に信長公廟所をまつる。

現本堂は創建以来の第七建立、建築様式は鎌倉室町時代の粹を集め、およそ 10 ヶ年の歳月を費して昭和 3 年に完成、大正、昭和期に於ける我が国の代表的木造寺院建築といわれる。

大本山本能寺

説明板より